

2021年10月6日

大阪地方検察庁 検事正
畝 本 毅 様

関電の原発マネー不正還流を告発する会
代表世話人 アイリーン・スミス
庄司 修
末田一秀
中嶋哲演

真相解明のために起訴を求める

多くの市民の声にこたえてください

関西電力の役員等が計約3億7千万円の金品を受領していた事件と減額された役員報酬等を闇補填していた事件についての、私たち市民3000余名による告発が受理されてから1年以上が経過しています。

最近になって、再びマスコミが地検は不起訴の方針を固めたと報じていますが、記事が伝えるように立証するには証拠が足りないというのであれば、強制捜査を行わず今日に至った地検の不作為が原因と言わざるを得ません。私たちは記事が誤報であると考え、法に厳正に基づいて早期に起訴を行うようあらためて求めます。

8月26日に早期の起訴を求めるネット署名1217名分を提出したところですが、その後届いた193名分を提出します。真相解明を求める多くの市民の声にこたえ、早期に起訴を行ってください。

連絡先

〒910-0859 福井県福井市日之出3-9-3

原子力発電に反対する福井県民会議気付

原発不正マネーの還流を受けた関電幹部の起訴を求めます



発信者：[関電の原発マネー不正還流を告発する会](#) 宛先：[大阪地検](#)

関西電力の役員等20名余が、福井県高浜町の元助役やその関連会社から計約3億7千万円の金品を受領していた事件。減額された役員報酬等を闇補填していたことも明らかになり、関電は国税局から所得隠しを認定されています。

これらの行為は特別背任等に該当するとして旧経営陣を刑事告発していますが、昨年10月に告発状を受理した大阪地検の動きが見えません。このままでは時効による免責の可能性もあります。

関西検察のドンと呼ばれた土肥孝治元検事総長が元監査役、佐々木茂夫元大阪高検検事長が現取締役、小林敬元大阪地検検事正が今回の事件の社内調査委員会委員長を務めるなど大阪地検と関電の深いつながりが、起訴の決定を阻んでいるのではないかと疑われています。

当初の告発状提出は2019年12月です。もう十分に捜査は尽くされていなければなりません。法に厳正に基づき、早期に起訴を行うよう求めます。

日付

コメント

- 2021/8/26 “大阪地検は、関電旧経営陣の原発マネー不正還流を、今すぐ起訴して下さい”
- 2021/8/29 “国策をイイことに、ここまでの不正が行われていたこと、ナシにはできません。不正を働いて当たり前土壌を作ってきた関電幹部に当然の罪の償いを”
- 2021/8/29 “日本の将来に重大な影響を与える原発事業者幹部が不正にまみれていては、どうしようもありません。”
- 2021/8/29 “不正と思われる様なお金でいい暮らししても、あなたたちは幸せと思います”
- 2021/8/29 “絶対に許してはいけません。処罰されるべきです。”
- 2021/9/2 “実質的には破綻している電力会社。役ただつの原発それに持って行き用の無い使用済み核燃料がゴッソリ保管され世界一高い電気代を国民は払っている。そして続く電力会社の不正もう沢山なんですよ。”

(提出した名簿は省略)